

学習指導計画

岡崎西高等学校

教科(科目)	国語（国語総合）		授業者	加藤 康子
日時	平成28年 7月 12 日(火) 第4限		対象・場所	1年9組40名 1年9組教室
単元	小説1 羅生門（10時間）			
本時の位置	登場人物の発言についての意見文を評価する。（9時間目）			
論理的思考の観点	④事象の関係性について洞察する。 ⑥議論や論証の構造を判断する。			
指導計画・本時の過程	導入	前時に書いた意見文の論理性を評価することを伝える。（5分） ・評価表を用いて、評価の観点を理解する。		
	展開	他者の意見文を評価する。（45分） ・4人の班に分かれ、他の班の意見文（4人分）を意見交換しながら評価し、評価表に記入する。 ・1つの意見文に対して使う時間は10分までとする。		
	まとめ	次時に、返却された自分の意見文を評価表に従って添削し、自分の意見文を書き直すことを予告する。		
評価規準	・他者の意見文を、論理性に着眼しつつ評価することができた。 ・他者の意見を聞き、かつ、自分の意見を話し合いの中で主張することができた。 ・学習活動に意欲的に参加している。			
反省	意欲的で積極的な生徒が多く、話し合いは活発に行われたが、評価表の内容について細かく分析し、対応させて考えることがややできなかった。班ごとの方向性を見極めながら助言をしていったが、なかなか論理的な文章にするにはどうすればよいかという思考にまで至れなかった。			